



徳島県におけるテレワークの取組

令和2年11月5日

徳島県人事課行政改革室 河原英治

1. 徳島県の概要
2. 徳島県テレワーク推進プロジェクト
 - (1) モバイルワーク
 - (2) サテライトオフィス
 - (3) 在宅勤務
3. 今後の取組



1. 徳島県の概要

◆徳島県の概要

人口：722,653人 (R2.7.1)
職員数：3,080人 (R2.4.1)



全国屈指のブロードバンド環境

◆葉っぱビジネス「いろどり」

テレワークの先駆け

▷ タブレット端末を駆使して
受発注 (モバイルワーク)



◆サテライトオフィス進出

県内全24市町村のうち

▷ 14市町村に66社が進出



◆お試しサテライト

短期間各地域で体験

- ▷ 神山バレー・サテライトオフィス・コンプレックス
- ▷ 太平洋を望むコワーキングセンター
- ▷ 江戸時代にタイムスリップ! 旧造り酒屋を拠点に

2. 徳島県 テレワーク推進 プロジェクト

目標

- ワーク・ライフ・バランスの実現
 - ・業務の効率化・迅速化
 - ・質の高い行政サービスの提供 等
- 災害時における「業務継続能力」の向上

検討 (WG)

- ・勤務形態、サービス関係
- ・情報セキュリティの確保
- ・運用ルール、業務の抽出

ほか

- ・人事課 ・行政改革室
- ・スマート県庁推進課
- ・職員厚生課、管財課
- ・総務事務管理課 ほか

H26~

モバイルワーク

- ・現場で業務を処理
- ・視覚効果でわかりやすく
- ・ペーパーレスの促進
- ・災害時における活動

タブレット端末50台導入

H26~

サテライトオフィス

- ・移動時間の有効活用
- ・通勤時間の効率化
- ・業務の効率化
- ・災害時における連絡要員活動

県庁4階にサテライトオフィス開設

H27~

在宅勤務

- ・自宅から庁内LANに接続
- ・職員のワークライフ・
バランスの向上支援
- ・通勤時間の有効活用
- ・ペーパーレスの促進

育児・介護中職員から

スケジュール

	平成26～27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度
モバイルワーク	実証実験 評価検証 端末配布業務の選定 利用要領の整備					
		本格運用				
		普及・利用促進				
サテライトオフィス	実証実験(万代庁舎) 実証実験(南部西部) 評価検証					
		本格運用				
		普及・利用促進				
在宅勤務	WG検討 実証実験 評価検証	職員アンケートを踏まえたテレワークの推進 評価検証	フリーアドレス導入、ペーパーレス化推進 軽量PC導入 本格運用に向けた制度設計 評価検証			
				本格運用		
				普及・利用促進		

対象者拡大：全ての職員

実施状況

①モバイルワーク利用人数

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1
人数	1,604	2,805	2,975	3,216	3,844	4,703

②サテライトオフィス利用人数

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1
人数	992	1,050	1,326	1,397	1,760	947

③在宅勤務利用人数

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1
人数	—	(30)	86	211	211	167

(1) モバイルワーク

長期活用：事業を募集し、各所属に貸与
短期活用：イベント等の出張時

所属	主な用務
安全衛生課	食品表示適正化の推進に係る業務
監察評価課	県庁コールセンター連携外国語通訳業務
徳島県立総合看護学校	教育効果の向上
東部農林水産局<徳島>	農業改良普及指導用務、治山・林道関係業務
環境指導課	産業廃棄物適正処理推進業務
西部総合県民局 県土整備部<三好>	河川管理・道路維持管理業務、災害復旧事業
漁業調整課	漁業取締船「つるぎ」・「せんば」の運航、取締業務
東部県土整備局	災害対応、営業所調査、現場調査、竣工検査
西部総合県民局 県土整備部<美馬>	土木施設の管理等業務
消防保安課	消防保安課用務、消防防災航空隊用務

長期

- ・観光誘客、企業誘致のためのプロモーション活動
- ・農林畜産現場における「営農支援」「防疫対策支援」
- ・工事検査 など

55所属89台



タブレット端末で撮影した現場の状況を職場へ送信



- ・情報の即時共有！
- ・移動時間の有効活用！
- ・データ・書類の紛失予防！
- ・平時からの利用で
災害時に備える！

(2) サテライトオフィス

県内外 **9カ所**に設置したサテライトオフィスで出張中の職員が業務を実施



◎効果的な時間の活用を実現

- ・サテライトオフィスの活用により、従前の「移動に要する時間」を「業務が可能な時間」に転換！
- ・自宅から直接サテライトオフィスに勤務することにより、通勤時間が短縮され、「ワークライフバランス」の向上！



	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
評価検証		課題 ・設置場所が少ない	改善 ・県外拠点（東京・関西本部）へ設置	改善 ・中央こども女性相談センター（徳島市）へ設置	改善 ・自治研修センター（徳島市）へ設置	改善 ・ニーズに応じた、新たな拠点の検討	

テレビ会議の積極活用！

審議会の委員もテレビ会議で会議に参加！



東京本部



(3) 在宅勤務

対象者

- ◎ 知事部局に在籍する職員であって、所属長から承認を得た職員

実施場所

- ◎ 原則として、職員の自宅（出張扱い）
- ◎ 自宅にインターネット環境がない等の場合には、最寄りのサテライトオフィス

実施単位

- ◎ 原則、一日単位
- ◎ 勤務公署への勤務は週1日以上

職員負担

- ◎ インターネット回線等利用料金
- ◎ 自宅の光熱費
- ◎ 職場との連絡調整に要する電話料金

手順

- 1 前日までに「在宅勤務実施計画書」を所属長に提出し承認を得る
- 2 自宅への出張手続
- 3 貸与パソコン（シンクライアント端末）受取
- 4 SSL VPN接続の確立
トークン名、ワンタイムパスワードの入力
- 5 VDIへログインして業務開始
- 6 電話、メール、テレビ電話、チャット等で勤務開始の旨を連絡
- 7 終了の旨連絡
- 8 貸与パソコン返却
- 9 書面又は口頭により、復命
- 10 アンケートへの回答

スケジュール

H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
WGでの検討	実証実験開始 ■課題 ・育児・介護中の職員しか利用できない ・職場の理解不足	職員アンケートを踏まえた取組の検証・改善 ●改善 ・対象者を全職員へ拡大 ●改善 ・テレワーク参加を推奨する「テレワーク・トライアル月間」を設定 ■課題 ・端末が重く、持ち運びが不便 ・書類の電子化が不十分	→ ●改善 ・テレワーク・デイに「特別協力団体」として参画し、150人規模の一斉テレワーク ●改善 ・軽量端末の導入 ・県庁Wi-Fi改革によるペーパーレス化を推進 ■課題 ・職場とのコミュニケーションの確保	本格運用 → ■課題 ・宅勤務を行うまでの手続きが煩雑 ●改善 ・システムを通じた申請の簡素化 ・在宅PCの貸出場所拡大 ●改善 ・タブレット端末の貸出拡大(2→12台)	普及・利用促進 ■課題 ・貸出パソコン以外からのリモートアクセスの導入検討 ・電子決裁の推進等職場のペーパーレス化推進	→ ●改善 ・自宅PCから県庁ファイルサーバーへの接続可能

3. 今後の取組

利便性の向上・利用促進

書類のペーパーレス化・共有化

時間や場所を有効に活用できる
柔軟な働き方を推進

災害時の業務継続性の向上

県内市町村・民間企業への普及



新型コロナへの対応

月別の在宅勤務実施者

令和2年	3月	4月	5月	6月	7月	8月	計
実人数	36	232	164	79	99	143	(422)
延人数	84	844	793	513	410	420	3,064

運用拡大・環境整備

< 2月下旬～ >

- ・専用アプリをインストールした個人所有のスマホを用いた在宅勤務を可能に
- ・貸出し専用PCを100台に拡充するとともに、県外事務所に必要台数を送付
- ・当日申請、連続実施も可能に

< 8月以降 >

- ・個人所有PCから庁内サーバーへの接続可能に（SBC方式、4000ライセンス）
- ・インターネット回線の増強
- ・業務に必要なソフトウェア、Web会議システムのライセンス購入

多様な働き方を県庁から実践！

～県庁オフィス改革～



ペーパーレス会議



フリーアドレス

導入前



立ち会議



導入後



システイーナ・ホール

徳島県鳴門市 大塚国際美術館

本日はありがとうございました